CIC 株式会社日本建設情報センター

2026 年 10 月 5 日

訂正とお詫び

下記の教材について、内容の一部に訂正がございます。深くお詫び申し上げるとともに、以下のように訂正いたします。

■１級土木施工管理技士　第一次検定　テキスト（改訂第三版）

頁	該当箇所	誤	正
27	図表2 についての解説文 （計4ヶ所）	上図のように、断面及び流心の高さが変化する流管の①･②断面において、$v_1^2/2g$、$v_2^2/2g$、z_1とz_2及び$p_1/\rho g$と$p_2/\rho g$の値は異なるが、全水頭H_eは等しい。そのため、次式で表される。 $\frac{v_1^2}{2g} + z_1 + \frac{p_1}{\rho g} = \frac{v_2^2}{2g} + z_2 + \frac{p_2}{\rho g} = H_e$ ※下線部がｐ（ピー）となっている	上図のように、断面及び流心の高さが変化する流管の①･②断面において、$v_1^2/2g$、$v_2^2/2g$、z_1とz_2及び$p_1/\rho g$と$p_2/\rho g$の値は異なるが、全水頭H_eは等しい。そのため、次式で表される。 $\frac{v_1^2}{2g} + z_1 + \frac{p_1}{\rho g} = \frac{v_2^2}{2g} + z_2 + \frac{p_2}{\rho g} = H_e$ ※下線部がρ（ロー）となっている
33	図表2 内 「ベーン試験」の 「試験で得られる結果」	粘着力 c〔N/mm²〕 （粘性地盤のせん断強	粘着力 c〔N/mm²〕 （粘性地盤のせん断強さ）
280	図表1 内 「貯蔵場所の扉」 貯蔵場所の構造	厚さ2㎜以上の防火扉などであって、盗難または火災を防ぐことができ、鍵錠を備えていること	防火扉とし、盗難を防止するための措置を講ずること
	図表1 内 「屋根･内面･床面」 貯蔵場所の構造	・天井裏、屋根には盗難防止用の金網を張ること ・建築物の内面は板張りとし床面には鉄類を表さないこと	・天井裏又は屋根には盗難を防止するための措置を講ずること ・建築物の内面には、火薬類の落下、衝突その他これらに類する事象による衝撃又は摩擦を緩和する建築材料を使用し、床面には、できるだけ鉄類を表さないこと
282	Check!! 火薬類取扱所に関する主な規定①	火薬類取扱所には平家の建物を設け、その構造は、火薬類を存置するときに見張人を常時配置する場合を除き、盗難および火災を防ぎ得る構造とすること。	火薬類取扱所には平家建の建物を設け、盗難及び火災を防止するための措置を講ずること。
	Check!! 火薬類取扱所に関する主な規定③	火薬類取扱所の屋根は、金属板、スレート板、瓦等の不燃性材料とし、内面は板張りとすること。また、床面には鉄類を表さないこと。	火薬類取扱所の建物の屋根は、金属板、スレート板、瓦等の不燃性材料とし、内面には、取り扱う火薬類の落下、衝突その他これらに類する事象による衝撃又は摩擦を緩和する建築材料を使用すること。また、床面にはできるだけ鉄類を表さないこと。

頁	該当箇所	誤	正
283	Check!! **火薬類取扱所に関する主な規定②**	発破に際しては、あらかじめ定められた危険区域**への通路に見張人を配置し、その内部**に関係人の他は立入らないような措置を講じ、付近の者に発破する旨を警告し、危険がないことを確認した後でなければ点火しない。	発破に際しては、あらかじめ定めた危険区域**に**関係人のほかは立ち入らないような措置を講じ、付近の者に発破する旨を警告し、危険がないことを確認した後でなければ点火しない。

以上